

本部朝礼での宋総会長ののみ言

基元節以降、この時代を生きる私たちは回帰の時代であるというのです。原理原本に出てくる単語です。私たちが生きる時代は回帰の位置ですので、聖和式というものは死んだ人だけが挙げるものではないのです。復帰完成の位置から改めて生まれれば聖和式をするのです。祝福を受けたので改めて聖和式をするのです。

基元節までに復帰完成の宣布のみ言が多くありました。すなわち回帰の位置に立ったというのです。この時を生きに行く私たちはどれほど尊いのでしょうか。我々の姿がこの瞬間、絶対後悔のない人生を送らなければならないのです。最高の目的を知っている私たちはどれほど幸せなことでしょうか。

お父様のみ言に興南の監獄生活が最高の精誠の条件の場であったというのです。ゼロから出発せざるを得ない生活がお父様にとっては最高の孝子の立場であったというのです。天の前に感謝の気持ちだけを持って正に孝子の孝子であったわけです。私たちがどんな危機の状況であったとして、希望を失わず、天の父母様と共にあるそんな姿になるべきであると改めて悟らされるわけです。5つの危機を機会に変えて、疎通と共有の場を持って出発しました。そしてこの危機を克服するためのプロジェクトも立ち上げました。この5大危機をどのように見つめるかがポイントなのです。希望がなく危機なんだととらえるのではなく、危機を越えて希望を見出すことが大切なのです。当然原因分析をする必要がありますが、天の父母様と共にある限り、危機自体にはなり得ません。この5つの危機を5つの希望として出発しようと思います。危機プロジェクトを立ち上げましたが、これからはそのように言わずに希望プロジェクトと言おうと思います。すべての食口が幸せを実現することです。希望を見て走っていけるそのような統一運動にならなければなりません。危機と言わず希望と言いましょ。単なる希望と言うのではなくこれを実現させる私たちの姿になりましょ。

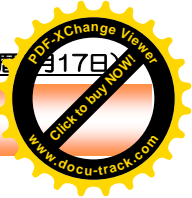
お知らせ

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

- 1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。**
- 2. 真のお父様聖和三周年に向けての150日伝道路程**
来る8月30日は「真のお父様聖和三周年」を迎えます。
聖和三周年までの150日期間(2015年4月1日～8月28日)、
真の御父母様の生涯路程の勝利を相続し神氏族メシヤとして、
全祝福家庭が絶対信仰で真の父母様と一つになり、死生決断、
実践躬行で必ず勝利して行きましょ。
目標:1家庭祝福、礼拝参加
期間:第1次 4/1～5/20 第2次 5/21～7/9 第3次 7/10～8/28
- 3. 1000日侍墓(シミヨ) 生活同参**
期間:3月26日(木)～5月31日(日)
訓読条件:天一国経典
- 4. 東埼玉教区伝道三日路程**
期間:5月19日(火)～21日(木)
- 5. 第5回 バラの会**
集合日時:5月20日(水)8:45集合 9:00出発
場所:あしかがフラワーパーク
会費:2,000円
- 6. 家系図セミナー**
日時:5月22日(金)10:30～
場所:浦和教会
- 8. 清心神学大学院、2015 年度後期 新入生募集のご案内**
詳細は、以下の「募集要綱」を記したページからご確認下さい。
<http://www.cheongshim.ac.kr/admission/masterjp.asp>
願書受付期間は6/1～15 18時までとなっています。
- 9. 2015年度圓母平愛グローバル奨学生プログラム第二期募集案内**
2015年9月～2016年8月:韓国語教育院課程
2016年9月～2020年6月:鮮文大学校
募集期間:韓国語教育課程及び学士課程は1月と7月に募集



週報



【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長:李炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774/Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

日曜礼拝式次第



説教者：李 炯燮教区長
司会者：田川 敏
伴奏者：町田滋子

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※聖 歌 聖歌 37番	全 体
※敬 拜	全 体
※家 庭 盟 誓	全 体
※年 頭 標 語	全 体
代表報告祈禱	
聖 歌	聖歌隊
み 言 訓 読	全 体
説 教	その時を夢見る	
※聖歌と献金 聖歌 46番	全 体
※祝 禱	執礼者
※全 体 祈 禱	全 体
お 知 ら せ	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

数多くの人類が願うその本郷の地はどこなのでしょう。これが今まで人類が探し求めてきた希望の基点です。もし韓国が世界人が願う本郷の国であり、韓国の地が世界人が願う本郷の地ならば、この韓国という国は極めて幸福な国になるでしょう。また、その国の中でどのような地点がそのような所かといえば、その地点はその国で一番貴い所でしょう。

先生が日本に行ったときに日本の食口達に言いましたが、もし、韓国が世界が慕うそのような本郷の国ならば、いま白頭山の頂にある土地でも日本の銀座のどの土地よりも高くなる時が来るでしょう。なぜですか。今全世界の十億に近いキリスト教信徒たちが今後、主が来られる本郷を恋しがっているからには、もしそのような所が現れたと全世界に知らせれば、瞬間に十億に近いキリスト教信徒たちが何としてもこの国を訪ねてくるでしょう。また、訪ねてきてただそのまま行くのではなくて、必ずこの韓国の地で位置をつかんで幸福に暮らそうとするでしょう。この小さな土地にキリスト教信徒だけで十億に近い人々が訪ねてくるとすれば、ここでは大きな問題が起きることでしょう。

— 神様の摂理から見た南北統一 —

統一運動

韓鶴子家庭連合総裁、UNで国際紛争解決提示

韓鶴子(72)世界平和家庭連合総裁が国際社会が直面している国、宗教など、様々な紛争の解決に神を中心の一つの家族になることを提案した。韓総裁は11日午後2時(現地時間)から、オーストリアのウィーンにある第3国連事務局で行われた「国連70周年・朝鮮半島の緊張関係の解消のために」をテーマにしたカンファレンスでの特別講演をした。「今年は韓国光復70周年、国連創設70周年、第二次世界大戦終了70周年である年だ。これも偶然と見ることはできない。天の摂理の結果だ」とついた後、「神は被造物である私たち人間の親である。親を祀る場合は兄弟たちがどんなに多くても一つになることができる」とし「そのような道を、私たちは捜さなければならない。韓半島問題、アジアの問題、世界の問題がすべて解決することができる」と強調した。また、「私たち一人一人の世界に向かって同参し、人類のより多くが、迷わず偽りなく創造本然の姿として、永遠に生きることができる必要があります」とし「肉身の人生は100年を超えないが、信じていく道は永遠である。今日集まった皆さんが韓半島問題の解決だけでなく、世界平和への道の主役になってほしい」と国連の役割を強調した。



2015年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2015年 活動指針

1. 訓読の伝統確立
2. 青年・学生伝道強化
3. 神氏族メシヤ責任完遂
4. 真の家庭国民運動展開